

保護者の評価、自己評価結果等の公表

公表：令和6年2月29日

事業所名 金沢市障害児通園施設ひまわり教室

1. 児童発達支援（I部）令和5（2023）年度分

(1) 「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果」

保護者等数（児童数）15人 回収数15人 割合100%

<回答の分析結果は表1の通り>

・15名から回答をもらう。質問は5つの領域に分かれていて、全部で23個の問い。

表1 「保護者等からの児童発達支援事業所評価の回答の集計結果」 ()内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	合計
環境、体制整備 (①～④)	55(91.7)	2(3.3)	0(0.0)	3(5.0)	0(0.0)	60(100)
適切な支援の提供 (⑤～⑨)	66(88.0)	4(5.3)	0(0.0)	5(6.7)	0(0.0)	75(100)
保護者への説明等 (⑩～⑱)	138(92.0)	5(3.3)	1(0.7)	5(3.3)	1(0.7)	150(100)
非常時等の対応 (⑳～㉑)	27(90.0)	1(3.3)	0(0.0)	2(6.7)	0(0.0)	30(100)
満足度 (㉒～㉓)	28(93.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.7)	0(0.0)	30(100)
合計	314(91.0)	12(3.5)	1(0.3)	17(4.9)	1(0.3)	345(100)

以下は、各問いに対する保護者のみなさんの意見です。

環境・体制整備

<p>①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「歩けるようになって、広い教室で思いっきり動き回って楽しそうです」「とても広くて車いすなどでも活動がしやすいです」「広々と遊んでいるように思います」「大きな遊具やマットがあっても、まだまだ走り回ることができるスペースがあって良い」「十分なスペースがあると思います」「広いスペースでみんながあそぶ様子もご飯を食べる様子も分かって良いと思う」</p>
<p>②職員の配置数や専門性は適切であるか はい11 (73%) どちらともいえない2 (13%) いいえ0 わからない2 (13%) 意見 ・「多くの先生がいつもいらっしゃって手厚く見てもらっている」「先生方の数も多く、子ども1人1人をよく見てくれています」「安心して通うことができるのはしっかり子どもを見て下さる先生がいらっしゃるからです」「職員の数が多いので安心できています」「専門的に見て下さっています」「トイレ、おむつ替え忘れなどあったため、余裕がなさそうに見えた」「どの方がどの職種の方なのか明示されているとよいなと思います(クリニックでみかけるような)」「今後さらに医療的ケアが必要な子が増えてきたときに対応できるように職員は多めに配置のほうがよいかな。事故につながらなければよいが」「特に不満などはないですが、専門性があるのかは分からないので」「ひとりひとりに合わせたペースでみんな過ごさせているように見えます」「看護師の先生もいるので安心です」</p>
<p>③生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 意見 ・「あそぶ部屋とご飯を食べる部屋等、目的別で部屋を使用しているので分かりやすい」「バギーの子どももバリアフリーで助かっています」「おもちゃ等、子どもたちが自分で出したり片づけたりしやすい場所に分かりやすく置いてあります」「段差もなく、色んな特性を持</p>

<p>った子どもたちが使いやすいようになっています」「食事のお部屋、活動の部屋もきちんとわかれており子どもたちも理解して生活できる空間になっている。段差などもほとんどなく、歩行器も移動しやすそうになっている」</p>
<p>④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか</p> <p>はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)</p> <p>意見 ・「息子はすぐに口に何でも入れてしまうので、おもちゃ等の消毒の頻度や消毒方法など知りたいです」「お掃除もよくされています」「部屋も広く走り回っても大丈夫です」「床暖房もあるので快適そうにみえます」「活動部屋と食事部屋など、活動ごとに分かれていて、集中できると思います」「清潔です」「いつ行ってもきれいで、汚いと思ったことがない」</p>

適切な支援の提供

<p>⑤子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか</p> <p>はい13 (86%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない1 (7%)</p> <p>意見 ・「思ったことはその都度先生にお伝えしているが、ニーズや課題が計画に含まれているかは不明」「きめ細かく見て作成していただいていると、毎回感謝しています」「本当に細かに子どもをみていると分かる内容で、親がみても納得できる計画になっている」「分析していただいたものをいつも説明して下さっています」「面談で相談した内容などおり込まれていたりして適切に作成されています」「しっかり細かく作成されていると思います」「おはしの使用を取り入れてくれたり、外遊びを増やしてもらいました」</p>
<p>⑥発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか</p> <p>はい12 (80%) どちらともいえない2 (13%) いいえ0 わからない1 (7%)</p> <p>意見 ・「発達についてがメインだと思う。家族や地域に関してはあまり計画に含まれていないと思うが、面談などの時に相談させてもらっている」「細かくしっかりと広い視野で設定されていると思います」「成長や発達に合わせて支援内容を変更してくださっています」「子どもの様子を家や保育園の時も気にして考えて作成して設定していただいています」「発達に必要なステップを熟知されていて、色々な事が通う度に出来るようになっていきます」</p>
<p>⑦児童発達支援計画に沿った支援が行われているか</p> <p>はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)</p> <p>意見 ・「親からもしっかりとヒヤリングを行ない、支援いただいています」「そのつど子どもに合った支援を行ってもらっている」「しっかりと計画に沿った支援を頂いています」</p>
<p>⑧活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか</p> <p>はい14 (93%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない0</p> <p>意見 ・「発達がゆっくりなので、本人の状況に合わせて楽しめることを一緒に取り組んでもらっている」「音楽リズム、体育、日によってプログラムが変わります」「毎日同じプログラムにならないよう工夫されている」「いつも色々なプログラムを行なって下さっています」「音楽や指先を使う遊び、運動など色々な活動をたくさんしてもらっている」「いつも色々なあそびをされていると思います」「毎日違った遊び、その季節ごとの遊びを取り入れてくれます」</p>
<p>⑨保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか</p> <p>はい13 (87%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない2 (13%)</p> <p>意見 ・「色々な子どもたちとのふれあいを大切にされていると思います」「近くの保育園の園児たちが時々来て一緒に遊んでいる様です」「保育参加の日でしょうか。子ども園に行ったとは聞いたことがないので（他の子は行ったのは聞いています）」「近くの幼稚園の園庭で一緒に遊んだり、図書館にいた子どもたちと遊ばせてくれたりなど、よい機会をたくさん作って</p>

もらっている」「近くの幼稚園に行っています」「近隣の幼稚園と交流がある」「交流教室に週1回行かせてもらっています。お友達もふえていい経験になっています」

保護者への説明等

⑩運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか

はい14 (93%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない0

意見 ・「毎年年度初めにきちんと説明があります。入室時にも説明がありました」「全てにおいて丁寧に説明いただきました」「教室に通う時にていねいに説明されました」「何かある場合はいつもきちんと説明してくれている」

⑪児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか

はい13 (86%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない1 (7%)

意見 ・「今年度は面談日にまとめの内容をお話することはなかった」「面談の時に説明してくれる」「きちんと説明を受けている。家では気づかない部分も支援してもらっていて、助かっている」「施設でも様子や過ごし方を細かく分析して説明していただいています」「ていねいに説明して下さいます」「2か月に1回計画書を見ながら面談をしていただいています」

⑫保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか

はい12 (80%) どちらともいえない0 いいえ1 (7%) わからない2 (13%)

意見 ・「いつも保護者のことも気にかけて下さり、助かっています」「定期的に設定されていると思います」「昨年はあまり参加できなかったが、様々な内容で行われている」「月に1回面談がある。学習会も定期的にある」「障害の程度がちがひ、全体の意見交換会の際、話に置いてけぼりになることがある」「私が本当に助かっています」

⑬日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか

はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見 ・「その都度先生方にお伝えしている」「月に1回面談があるし、送迎時にいつも子どもの様子を教えてくれる」「PT,OTなどのリハビリでの課題があった場合や教室でもいろいろ先生方が教えて支援してくれている内容を相互に理解できている」「日々、子どもの様子や変化を教えていただき、こちらの様子も聞いていただいています」「出来ています」「変化（成長）や一時的な変化も細かく話して伝えて共通理解していただいています」「送迎の時、もしくは連絡帳で子どもの様子を伝えていただけて、楽しみにしています」「朝や帰りの時に日々の様子を伝え合ったり、ひまわり教室での様子を細やかに伝えたりして下さるので、とてもありがたいです」「送迎時にいつもていねいに伝えていただいています」「送迎時は困りごとなど相談できる」「面談で課題の共有や、毎日のおたよりでも、日々の様子を知らせていただいています」「試行錯誤しながらも子どもたちと一緒にいることが苦しくなったり、そう思うってしまう自分が嫌な人間に思えたり。いくら気持ちを切り替えようとしても、家の中の状況で、気力もないという毎日。私の努力では、現状を変えることができず、何を相談すればいいのかもわからなくなっています。それでも、先生方の顔を見るとどこか安心します。元気をもらいます。私が深刻に考えすぎなのか、この子どもたちの現状をどう受け止めたらいいのか思い悩んでは、考えることをやめたり、逃げたり。私ができない関わりや先生方の気付きの中で、これからもあたたかく子どもたちと関わって下さること、よろしく願います。また、助言やご指導の程、よろしく願います」

⑭定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか

はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見 ・「皆さんがそれぞれ子どもとコミュニケーションをとり、情報共有し合って、親にフィードバックされているといつも感じています」「月に1回面談がある」「毎月面談で1時間ほど時間をいただいている」「月に1度は時間をたくさんとり、子どものことについて話してい

<p>ただけております」「月1回面談で育児の相談助言をいただいています」「月1回、当番日に相談できる」「困った事、分からない事は一番に先生方に相談し、いつもアドバイスをいただいています」</p>
<p>⑮父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか はい14 (93%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない0</p> <p>意見 「個々の家庭の状況であったり、価値観が違ったりするので一概に言えないが、保護者同士のつながりは多くはないのかな…と思う」「土曜日が仕事だったり、下の子の都合でなかなか参加できないですが、学習会が定期的に行われているのは良いと思います」「他の保護者の方と知り合い、意見やアドバイスを聞けて助かっています」「定期的に学習会を開いて下さっている」「定期的に保護者の学習会があり、(父)母の会がある」「いつも気にかけてもらったり、場をまわしてもらっている」「定期的に実施されており、母親についてはグループラインもあるので、声掛けがしやすい」「なかなか参加出来ず、残念に思っています」「定期的に学習会があり、他の保護者の方と話す機会となり、情報交換ができています」</p>
<p>⑯子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0</p> <p>意見 ・「お座りをして絵本を読めなかったのですが、今は落ち着いてお話を聞くことができるようになりました」「いつも親の意見を聞いて下さって、先生方と一緒に息子を育てていると思っています。常に助けていただいています」「都度しっかり話を聴いて下さりていねいに対応していただいていると思います」「相談した事などスタッフで共有されていると思います。日々のおたよりでも対応してくれています」</p>
<p>⑰子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 無回答1 (7%)</p> <p>意見 ・「最近連絡帳に書いても返事がなく、なかなか伝わらない時があります(たぶんばたばたするような日、土曜日など?)」「特に朝なんです、電話が繋がらないことがよくあります。欠席はメールで受付ける等何かしら対策してもらえると助かります」「何かあったらすぐ連絡をくれます」「いつも細かくお話いただいています」「毎日のおたよりや送迎時に伝達できています」</p>
<p>⑱定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 (%)</p> <p>意見 ・「教室だより等で先生方のふり返りを伝えてくれています」「いつもたくさんいただきしており、特にでこぼこ通信は楽しみです」「“でこぼこ通信”や“金沢つながり”など定期的に発行されています。“でこぼこ通信”はいつも楽しみにしています」「教室での様子がもう少し頻回に写真で発信されると嬉しいです(保護者だけでみられるWebページ等で)」「ひまわり教室だよりなど、いつも楽しみに拝見しています」「会報などで写真つきで行事などの報告を受けて家族で読んでいる。いつも楽しみにしている」「でこぼこ通信で楽しそうな様子が伝わってきます。ありがとうございます。個人情報もあるので難しいかもしれませんが、SNSで動画など見られたらよい、伝わってくるのでいいなと思います」</p>
<p>⑲個人情報の取扱いに十分注意されているか はい11 (74%) どちらともいえない2 (13%) いいえ わからない2 (13%)</p> <p>意見 ・「ひまわり教室のSNSのアカウントがあるといいなと思いつつも、他の親御さんが教室で動画をとられたりしていると、どんな風に使われるのかな…と気になったりします。多分みなさんネットリテラシーのある方ばかりだと思うのですが、親御さんだけでなく、様々な方が関わっている場なので、撮影などに関してマナーが守られているのか気になることがあります」「どのように管理されているか不明」「十分な配慮をいただいています」「人により事</p>

情があるけど、気を使わせて申し訳なく思う程注意してもらっています」「DVD撮影も、本人の画像を入れるか聞いてくれます」

非常時等の対応

⑩緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか

はい13 (86%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない1 (7%)

意見 ・「災害時の避難場所や連絡など共有していただきたいです（子どもがひまわり教室にいた場合）」「防犯（マニュアル）はあるんでしょうか。障害者を狙ったテロが（犯）が突然入ってきたらどうするのか気になっていました。いつもオープンで、入っても誰にも気づかれないこともあるので」「実施されています」「マニュアルはいつもファイルに入れている」「マニュアルをいただいています」「マニュアルもあり、訓練も実施されており、自身の際もすぐに連絡があり、非常時にも対応ができています」「マニュアルは常にかばんに入れるファイルに入っており、定期的に避難訓練をされています」「子どもたちと先生で訓練されているのは知っているが、地震もあったので、具体的にどのような訓練をしているのか親も訓練に参加する機会があってもよいかもしれない」「参加できる日は連絡帳に訓練しましたと記入が有ってわかりやすいです」

*マニュアルは毎日持参する鞆の、各自のファイルに常時入れてあります。

⑪非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか

はい14 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)

意見 ・「定期的にされており、今回の地震の際もすぐにご連絡いただきました」「定期的に避難訓練を行っている資料をいただく」「災害時の訓練の様子も報告していただいています」「定期的に訓練が行われていて、報告もあります」「して下さっています」「天変地異が非常に多くなっているので、訓練は本当に大切だと思います」

*近隣事業所合同で年に2回、教室独自で数回行っています。たよりにて報告します。

満足度

⑫子どもは通所を楽しみにしているか

はい13 (86%) どちらともいえない いいえ0 わからない2 (13%)

意見 ・「たまに行き渋ることがあります」「色々な所へ連れていってもらえて楽しんでいると思います。遊びも豊富で満足そうに帰ってきます」「大変楽しみにしています」「朝、お迎えがきて、玄関に先生の顔が見えると満面の笑顔です!! 言葉はまだ話せないけど、嬉しいのが分かります」「先生やお友達に会うのを楽しみにしている」「通園バックを見て、早く行きたいと訴えています。家でも、園でやった遊びをやりたがります」「毎朝『おむかえきたよ』と声掛けすると嬉しそうに玄関に走っていき、先生をみるとニコニコしている」「先生方が大好きで、家では写真や動画を見ながら一生懸命先生方の名前を覚えています。毎朝『ひまわり!』と言います」「ひまわり教室に通うようになってから子どもの笑顔や活動量が増えた気がします」「私の車にのるのは嫌がるのにひまわりさんの車にはスイスイと乗っていきます」

⑬事業所の支援に満足しているか

はい15 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0

意見 ・「遊びの幅が広がり感謝しています」「制度の問題かと思いますが、朝と夕、通える時間が延長できるとありがたいです」「なんでも相談できるので個々の支えになっています」「いつも細やかなお気遣いと笑顔をありがとうございます」「とても満足しています」「ひまわり教室は子どもにとっても親にとってもありがたい存在です」「通園してからたくさん成長することができ、園にはとても感謝しています」「いつも子どもをかわいがってくれて、たくさんことができるようになり、とても感謝している」「障害のある子が生まれて戸惑いが大きかったですが、子の成長だけでなく親としてのサポートのことも学ばせて頂いています。職員の皆

さんの子どもへの温かい声かけ、関わりで、自分も大切にされている気持ちになります」「ひまわり教室は成長がゆっくりの息子がしっかりと成長を感じられる場所です。子育ての強い味方です」「細かく対応していただき、子どもの様子も分かりやすく、安心しておまかせできています」

<児童発達支援事業（I部）保護者評価を読んで>

有難いことに、評価は概ね高いものとなっています。

「適切な支援の提供」の「はい」が「88.0%」です。その中の「⑥児童発達支援ガイドラインに沿った選択された項目で支援が設定されているか」で評価が低くなっています。意見記述ではいい評価ではありますが、ガイドラインでの説明は行っていないこともあり、「どちらともいえない・わからない」が14%でした。ガイドラインの概要を配ることも考えてみます。

「保護者への説明等」の「はい」は「92.0%」です。その中の「⑫保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか」という項目でも「どちらともいえない・いいえ」が20%でした。ひまわり教室では、家族を支援することは、教室の基本の姿勢の4本の柱の大事な1本です。毎年の活動計画の中には必ず教室では、保護者に対して「家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）」という言い方ではなく、「家族への援助として、『子どもの育ちの援助ばかりでなく、家族への援助も大切にしていきます。家族のみなさんと心を合わせて、子どものゆたかな育ちを願って、共に歩むよう努めます』」という文を書いています。ただ、ここ数年は父親の会を開くことができていません。行事も開けていません。ここはこれからの課題とします。

「⑮定期的に…活動概要や行事予定…自己評価の結果を…発信されているか」の項目で、子どもたちの様子をネット環境で見ることができないか、と希望が書かれています。きっとこの希望が多いただろうとは思っていますが、申し訳ありませんが、今までもこれからも、難しいことだと考えています。一人ひとりの写真はためであるので、個人的に見せられますし、コロナも少しおさまっているので、子どもたちの様子は直接教室に来て一緒に遊んでもらいたいです。

「⑲個人情報の取り扱い」の「はい」は「74%」です。「どちらともいえない・わからない」が「26%」。最近スマホで簡単に動画が撮れます。教室でも取られる動画の取り扱いについてマナーが守られているのか、という心配が出されています。それについては、1年前からですが、行事の時に注意喚起を行っています。また、入室時に、保護者のみなさんとは、「通室児及び家族の個人情報の取り扱い及び情報の開示に関する同意について」という文面において、個人情報保護法等の趣旨に基づき子ども及び家族に迷惑のかからないようにすること、同意を得た場合にのみ情報の開示を行なう旨、同意書を交わしています。

記述式の回答で、多くの意見を寄せていただきました。励まされるが多い一方で、注意を喚起されるものもありました。一つひとつを大切に受け止めていきます。これまで以上に保護者との連絡を密にし、信頼関係を深めるよう努めたいと思います。

(2) 「職員からの児童発達支援事業所自己評価の集計結果」

金沢市障害児通園施設ひまわり教室 職員数 7人 回収数 7人 割合100%

<回答の分析結果は表2の通り>・質問は6つの領域に分かれていて、全部で47個の問い。

表2 児童発達支援事業自己評価に関する質問の職員からの回答の集計結果 ()内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	合計
環境、体制整備 (①～④)	23 (82.1)	4 (14.3)	1 (3.6)	28 (100)
業務改善 (⑤～⑨)	32 (91.4)	3 (8.6)	0 (0.0)	35 (100)
適切な支援の提供 (⑩～⑳)	72 (93.5)	4 (5.2)	1 (1.3)	77 (100)
関係機関や保護者との連携 (㉑～㉓)	64 (83.1)	9 (11.7)	4 (5.2)	77 (100)
保護者への説明責任等 (㉔～㉖)	62 (98.4)	1 (1.6)	0 (0.0)	63 (100)
非常時等の対応 (㉗～㉙)	45 (91.8)	4 (8.2)	0 (0.0)	49 (100)
合計	298 (90.6)	25 (7.6)	6 (1.8)	329 (100)

環境・体制整備

①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である

はい7 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・夏休みなど通っている子のたち年齢の幅が広いときは狭く感じますが、分かれて外出したり部屋を入れ替えたりして工夫している。
・昼寝を下子はもう1つの部屋で対応するなど、工夫している。

②職員の配置数は適切である

はい4 (57%) どちらともいえない2 (29%) いいえ1 (14%)

改善点 ・人員配置は満たしているが、日によって子どもの利用人数や子どもの状況によっては少ないと感じることもある。スペースを区切って対応している。
・パートさんで補っているが、本当は職員が必要。日や時間帯によってばらつきがある。安定した配置ができれば、と思う。

③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている

はい6 (86%) どちらともいえない1 (14%) いいえ0

工夫している点 ・建物自体がバリアフリー化されている。シンプルな作り（主に2つの部屋）での活動なので、構造化されていると考える。
・部屋の入口に動物を模した印があり、ふだんから遊ぶ部屋を「キリンの部屋」、食事やあいさつをする部屋を「リスの部屋」と言っていることもあるし、活動によって部屋を分けて使っているため、分かりやすいと思う。
・どんな子でもできるかぎり自分で動いたりできるように環境には配慮している。
・「わかりやすく構造化」という点では視覚的配慮は見直しが必要。手話による伝達も十分と言えない。

④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている

はい6 (86%) どちらともいえない1 (14%) いいえ0

工夫している点 ・活動前後、遊びの時間が終わった後にも掃除をしている。清拭にも気を付けている。コロナがあってから、水拭きする場合は電解水で行っている。トイレはハイターを希釈したもので毎日拭いている。遊具の片付け・消毒をしている。
・見られたくないプライベートゾーンに関する配慮の点は昨年度に改善した。
・きれいにすることは心掛けているが、おもちゃの整理がうまくいかない。大人も子どもも片付けしやすい工夫、空間作りをしたいと思っているが、今はまだできていない。整理などをする時間を作る。

業務改善

<p>⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している はい5（86%） どちらともいえない1（14%） いいえ0</p>		
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 週に1度のミーティングでいろいろ（子どもの確認・業務の確認等）話し合っている。パートタイム職員・時短職員も出られる時は参加している。そのほかでも、こまめに情報共有しているが、時間が限られているため、周知が難しいと感じる時がある。改善すべきところは職員全員で取り組んでいる。一人ひとりの個別支援計画の見直しを2か月に1度行っている。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> 全員参加は難しいが、パートさんを含め、今年度もテーマをしぼり全員研修をやったのは良かった。新しいパートタイム職員に対して説明不足な部分に気をつけていく。 	
<p>⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている はい7（100%） どちらともいえない0 いいえ0</p>		
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> このアンケートを基に振り返る機会となっている。率直な意見をもらい、指摘を受けたところは改善に努めている。 事業所の評価を受けたり、保護者の意向を聴いたりしながら、職員で話し合い、意向を活かせるように改善に努めている。それを会報で報告している。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> 今回のアンケートの結果を受け、また取り組んでいく。 	
<p>⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している はい7（100%） どちらともいえない0 いいえ0</p>		
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 毎年アンケートを実施し、結果をスタッフで共有したり改善する点は早くに見直したりと確認している。その結果を、金沢市のホームページで公表している。また、2か月に1度発行している『ひまわり教室だより』でも公表している。お母さんたちとの学習会でも報告している。 	
<p>⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている はい6（86%） どちらともいえない1（14%） いいえ0</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は外部評価を第三者に依頼し、母親の会の文集について評価をうけた。ホームページと教室だよりに掲載して公開した。 教室独自に頼んでいる第三者委員にお願いし、2年に1度は行うことにしている。 	
<p>⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している はい7（100%） どちらともいえない0 いいえ0</p>		
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 研修の機会を大切にしている。年に一度実践検討会を行った。教室内で、スーパーバイザーによる勉強会を月に数回行った。毎年、人権や医療的ケアの講習会・虐待の研修会などに参加している。また、今年度は講演会を3回行った。 職員間での勉強会や研修（外部）に参加したことは話し合いで共有した。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> 外部の研修に参加できることがもう少し増せたらと思っている。 	

適切な支援の提供

<p>⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している はい7（100%） どちらともいえない0 いいえ0</p>		
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の様子に関わった職員が「遊び」と「一日」の様子に分けて記録している。それを基にして、個別支援計画を作成している。2か月に1回見直しを行っている。また保護者のニーズを相談の機会などから聴き、支援計画を作成し、課題をミーティングで確認し、その記録をもとにお母さんと話し合っている。 	

改善点	・職員間（パートタイム職員も含め）の確認をもっと密にしていけたらと思う。
⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	はい6（86%） どちらともいえない1（14%） いいえ0
工夫している点	・一般的な発達検査を入室時に行っている。保護者の方からの聞き取り用の個人表は全員同じものを使用している。
⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	はい7（100%） どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・2か月に1度行っている支援計画の項目は、「日常生活」「体」「手指」「人間関係」「興味関心」「理解」「情動」等に分けて最近の様子をまとめ、各々ねらいを設定し、それに沿って支援している。ガイドラインで示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に選択した具体的な支援内容となっている。
改善目標	・足りない部分もあると思うが、それは今後の課題とする。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われている	はい7（100%） どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・日々の支援記録をたどり、適切な関りをしてきたか、これからどのような支援が必要かなどを、職員間で話し合い、日々の保育をしている。活動や日常生活に沿って、目標をスモールステップで立てて、支援している。 ・2か月に1度見直しを行っているが支援計画以外にもその時々の子どもの様子を見ながら適宜振り返りを行っている。子どもの声を聴き、子どもの動きに合わせて柔軟に支援を行えるように努めている。 ・職員間で気かけながら支援をしている。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っている	はい7（100%） どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・活動プログラムの立案をチームで行っている。次週の活動プログラム（週案）を週末に職員で確認して立て、それを一斉メールで回している。毎日、次の日の予定も回して確認を取っている。
改善点	・パート職員にも回すようにしたい。
⑮活動プログラムが固定化しないよう工夫している	はい6（86%） どちらともいえない1（14%） いいえ0
工夫している点	・毎週、毎日違う遊びを設定し、毎回違う職員が考えている。内容も毎日違う職員がリーダーしているので、固定化はしていない。いろいろな経験が出来るように工夫している。先週していない遊び（活動）を次週に盛り込むようにしている。
改善目標	・工夫したいと思って取り組んでいるが、バラエティに富んでいるわけではないかもしれない。子どもの様子に合わせ、新しいものを取り入れている工夫も必要かもしれない。
⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	はい7（100%） どちらともいえない0 いいえ0
工夫している点	・個別で遊ぶ時間とみんなで一緒に遊ぶ時間を作っている。みんなで活動することで、「順番」「待つ」「他の子の様子を見る」などのねらいを伝えている。 ・日々の支援記録をたどり、支援計画を立てている。それを職員間で確認して話し合い、日々の保育をしている。2か月に1度見直しを行っているが、支援計画以外にもその時々の子どもの様子を見ながら適宜振り返りを行った。
⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	

はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	・曜日ごとに1日の担当職員が決まっている。その職員が毎朝1日の打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や職員の動き・役割分担について確認している。 ・職員間での声掛けや連絡をこまめにとっている。	
⑩支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		
はい4 (57%)	どちらともいえない2 (29%)	いいえ1 (14%)
工夫している点	・支援終了後には翌日の迎いの確認等を行っているが、職員の勤務の時間帯がずれているので、対面では全員参加はできない。 ・気になった点・共有すべき事項・重要事項等の話が出された場合は、メモに書いて貼りだしたり、その日のうちに電話やメール連絡をしたりしている。子どものケース記録に書くこともある。 ・週に1回行っているミーティング時に確認することもある。共有はできている。	
⑪日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	・ケース記録は一人の子に対して、「設定遊びの様子記録」と「あいさつ・食事・排泄・午後の様子等の記録」の2冊がある。毎日の支援をこの2冊に記録している。この記録を2か月に1回まとめ、支援計画を作成している。子どもの課題を設定し、保護者にも説明をしている。そしてまた2か月後に見直しをしている。必要な時は適宜、見直しをし、確認している。 ・他に、1日の記録「保育日誌」、設定遊びの記録「遊び全体」、「職員のミーティングの記録」「学習会の記録」を記録している。	
⑫定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	・支援計画は2か月に1回行っている。⑩と同じ。見直しの必要がある場合はその機会に関わらず、適宜確認している。	

関係機関や保護者との連携

⑬障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。今年度は機会が少なかった。	
⑭母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		
はい5 (71%)	どちらともいえない2 (29%)	いいえ0
工夫している点	・連携が必要な場合は、病院でのカンファレンスに参加したり、行政とも連携をとったりして支援を行っている。保育所等訪問支援事業を行っているので、保育園や小学校などと連携した支援を行っている子もいる。 ・親の会「つながりの会」と連携している。	
⑮(医療的ケアが必要な子どもや重症心身の障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		
はい6 (86%)	どちらともいえない1 (14%)	いいえ0
工夫している点	・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、医療との連携は必須である。研修・安全委員会などで医療とは連携している。 ・また、通っている子が次に行く保育園や幼稚園、学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。必要があれば、出かけて行って引継ぎをしている。	

②④ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡体制を整えている。必要書類を作成し、医療行為の研修もしている。嘱託医とも連携をとっている。 ・薬が変わったときなど、その都度書類をコピーもらい、確認している。 ・緊急連絡先など、何かあった時の動きは確認している。 	
②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・通っている子が次に行く保育園・幼稚園や学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。保育園・幼稚園や学校へ行き、直接話をすることもある。 ・就園後に、子どもが通っている子ども園や幼稚園・保育園へ出向き、連携をとるようにしている。 	
②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・通っている子が次に行く学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。就学後に、訪問し、話をすることもある。 ・相談支援の担当者会議にて共有することもある。その後、月に1回保育所等訪問支援を行ったりもしている。 	
②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けている		
はい2 (29%)	どちらともいえない4 (57%)	いいえ1 (14%)
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にはしていない。相談支援の担当者会議で共有することはある。 ・サービス管理責任者の事業所連絡会で研修を受けている。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・機会はあまりないがつながれたらいいと思う。モニタリングの際には話をさせてもらうことはあるが、研修を受けることは積極的にはしていない。機会があれば参加する。 	
②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの幼稚園と週に1回交流保育を行っている。幼稚園の園庭で一緒に遊ぶこともある。幼稚園の子どもたちも遊びに来る。また、公園・児童館などに遊びに行き、みんなに声かけ遊ぶ雰囲気づくりを心掛けている。 ・できるだけ公園や児童館へ遊びに行っている。 	
②⑨ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		
はい2 (29%)	どちらともいえない2 (29%)	いいえ3 (42%)
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市市民フォーラムには参加したが、それ以外は参加していない。機会があれば、参加していく。 	
③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の時に話をしたり、連絡帳のやり取りをしてその日にあったことを確認し合ったりしている。主にお母さんと、月に1、2回個人面談をしている。2か月に1回、保護者との学習会を行っている(テーマは子育て・就学就園・発達に関する学習等いろいろ)。何かあった場合はいつでも話を聴くことにしている。お母 	

<p>さんたちとは、個別支援計画について2か月に1回、課題について確認している。子どもの発達の状況や課題について共通理解できるよう努めている。</p>		
<p>③保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている</p>		
はい7（100%）	どちらともいえない0	いいえ0
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑩の設問の答えと同じように、教室でやっていることを伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解に努めている。家族の支援も子どもたちの支援同様、大切にしている。 ・月に1回、主にお母さんたちと学習会を行っている（テーマは子育て・就学就園発達に関する学習等いろいろ）。お母さん同士、自分の話を他の人に聴いてもらったり、他の人の話を聴いたりすることで、お母さんの気持ちが落ち着いたりすることがある。個人面談も行っている。 		

保護者への説明責任等

<p>③②運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている</p>		
はい7（100%）	どちらともいえない0	いいえ0
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書・契約書等、通室契約時に説明している。運営規定は教室内に張り出してある。 		
<p>③③児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている</p>		
はい6（86%）	どちらともいえない1（14%）	いいえ0
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容に合わせた支援計画の項目で、支援計画（教室では「まとめ」と言っている）を作成し、お母さんに話をしている。子どもたちの課題については共通理解している。 ・ガイドラインを用いての説明は行っていない。 		
<p>③④定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている</p>		
はい7（100%）	どちらともいえない0	いいえ0
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん一人に対して、月に1回個人面接を行っている。お母さんの話を聴き、必要に応じて助言している。2か月に1回学習会も行って話し合っている。 ・送迎時などでも話す機会はある。また、連絡帳のやり取りも毎日行っているため、お聞きした時には随時対応している。 		
<p>③⑤父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している</p>		
はい7（100%）	どちらともいえない0	いいえ0
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回父母合同学習会を行った。それぞれの家族の話を聴く機会はある。 ・今年度は土曜日に「にぎやか保育（家族参加）」を行ない、父母祖母祖父の皆さんに教室での遊びに参加してもらい楽しんだ。家族同士がつながることができるいい機会になっていると思われる。 		
<p>③⑥子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している</p>		
はい7（100%）	どちらともいえない0	いいえ0
<p>工夫している点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かあった場合はいつでも話を聴くことにしている。実際相談に来ている。 ・児童発達支援を利用しているお母さんとは個人面接を月に1、2回行っている。 		
<p>③⑦定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している</p>		

はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回「ひまわり教室だより」を発行している。 ・「でこぼこ通信」が年に12回以上発行している。子どもたちの様子を中心に、活動概要や行事予定、連絡体制等も発信している。 	
③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に注意・配慮している。失敗があることも否めないで、失敗した時は、その後のことを迅速に対応していく。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取扱いに注意はしているつもりだが、これまで以上に気にかけていきたい。 	
③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。「子どもの声を聴く」ことを大事にして関わった。ていねいに保護者とのコミュニケーションをとるようにした。 ・③⑩③④③⑥③⑦と同様。 	
④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、市民に向けて「共生の文化講座」を3回行った。 ・教室の見学等はいつでも受け入れている。 	

非常時等の対応

④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		
はい4 (57%)	どちらともいえない3 (43%)	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアル・子ども一人ひとりの医療ノート・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、子どもが毎日持ってくる袋に入れてある。 ・訓練は行っているが、回数を増やし、内容も工夫できれば、と思う。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯については、緊急連絡用の電話の設置はしてあるが、訓練を行っていないので行うようにする。 	
④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		
はい6 (86%)	どちらともいえない1 (14%)	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は年に数回行っている。子どもの避難だけでなく、必要な物品も運び出している。実施の様子は、「でこぼこ通信」に載せ、保護者に発信した。 ・火事・地震に分けて避難訓練を行った。また、法人で行っている避難訓練にも参加している。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し訓練のやり方を考える。防犯訓練も行う。 	
④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。子どもたち一人ひとりについて「医療ノート」を作成し、服薬の様子や発作のこと等を記している。緊急時の対応表等も作成し、毎日持って来る鞆に、常に入れていく。1年に1回確認し直している。年の途中で薬が変わった時は、その都度確認し、日々のケースにも記録している。 	
④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		
はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0

工夫している点	・食物アレルギーのある子どもがいる場合は、お母さんからの聞き取りをし、医師の指示書に基づく対応をしていく。		
④⑤ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	・ヒヤリハット事例集を作成している。作成だけでなく、その場で確認したり、予想して予防するための声掛けをしたりしている。小さなヒヤリもノートに記入するようにしている。職員全員が書き込めて、見ることもできるように、事務室に出してある。		
④⑥虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	・できる限り研修を受けたり伝達研修を実施したりしている。毎年、県と市で行われるので、それぞれ参加している。新聞記事などの話をしたりコピーを配って共有したりしている。		
改善点	・更に継続的な研修が必要。きびしく自分たちの言動を見直すことができるよう努めたい。		
④⑦どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	はい7 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	・座位保持椅子や車椅子を使用している子どもの保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で座らせるようにし、児童発達支援計画に記載をしている。		

<児童発達支援事業（I部）職員の自己評価を読んで>

「環境、体制整備」の「はい・82.1%」は、「職員の配置は適切か」の評価が低くなっているからです。昨年度に続いて、職員配置については、基準は満たしているものの、日によってだったり、放課後支援も行っているため時間帯によってだったりですが、ぎりぎりで行っているところは否めませんでした。フルタイム職員が不足しているという問題があります。また、「適切な支援の提供」が「はい・93.5%」と高い評価ですが、その中の「支援後のふり返り」の所が低くなっています。それは「職員全員でのその日の内での対面のふり返りはできない」というのが理由です。その日にはできなくても、対面でなくても、電話・メールやメモ等、連絡を取ってやりくりしています。週1回のミーティングの時間には確認作業ができます。ぎりぎりで行っている感はあるのですが、職員みんなのできる限りのことをやっているという自覚は職員全員にあると思います。

「関係機関や保護者との連携」の「はい・83.1%」は、他の機関との連携などの部分で評価が低くなっています。それについては、必要がある場合には連携しているものの、十分なものとは言えません。そこに時間を割くだけの人数がないのも実情です。今後も課題ですが、できることはやっていきます。

ひまわり教室の取り組みが「地域の人たちに開かれたものになっているか」については、コロナが落ち着き、講演会（共生の文化講）を開くことができました。50周年ということもあり、3回の連続講座になりました。開くことができ良かったと思います。今後も続けていきます。

「非常時の対応」のなかの、緊急対応や感染症対応、防犯などの各マニュアルを周知し、訓練しているか、という項目で評価が低くなっています。それは、防犯の部分での取り組みが弱いことと、避難訓練を行っているけどもっと回数を増やし内容も工夫できれば、という思いがあるからです。これらは今後の課題にしたいと思います。

放課後等デイサービスも行いながら、児童発達支援の質を落とさないための工夫・努力を、今後とも重ねていきたいと思っています。

2. 放課後等デイサービス（Ⅱ部）

（1）「保護者等からの放課後デイサービス事業所評価の集計結果」

事業所名 金沢市障害児通園施設ひまわり教室 保護者等数10人 回収数10人 割合100 %

<回答の分析結果は表3の通り>・質問は5つの項目に別れていた、全部で18個の問い。

表3 「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果」

	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	合計
環境、体制整備 (①～③)	27(90.0)	2(6.7)	0(0.0)	1(3.3)	30(100)
適切な支援の提供 (④～⑥)	28(93.3)	2(6.7)	0(0.0)	0(0.0)	30(100)
保護者への説明等 (⑦～⑭)	74(92.5)	6(7.5)	0(0.0)	0(0.0)	80(100)
非常時等の対応 (⑮～⑯)	18(90.0)	2(10.0)	0(0.0)	0(0.0)	20(100)
満足度 (⑰～⑱)	19(95.0)	1(5.0)	0(0.0)	0(0.0)	20(100)
合計	166(92.2)	13(7.2)	0(0.0)	2(1.1)	180(100)

環境・体制整備

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか はい10(100%) どちらともいえない0(%) いいえ0 意見・「体を思いっきり動かすことができているので、確保されていると思う」「子どもがのびのび活動している感じがします」
②職員の配置数や専門性は適切であるか はい8(80%) どちらともいえない2(20%) いいえ0 意見・なし
③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などのバリアフリー化の配慮が適切になされているか はい9(90%) どちらともいえない0 いいえ0 無回答1(10%) 意見・なし

適切な支援の提供

④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか はい8(80%) どちらともいえない2(20%) いいえ0 意見・「週に1回でも平日通えたら嬉しい。他の所は慣れていないから」
⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか はい10(100%) どちらともいえない0 いいえ0 意見・なし
⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか はい9(90%) どちらともいえない0 いいえ0 無回答1(10%) 意見・「障害のないお子さんとの交流の様子が聞けて嬉しいです」「色々な所に連れて行ってもらえて嬉しい(特にアメルンパークがうれしかったみたいです)」「ショッピングセンターや公園に出かけていた」

保護者への説明等

⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか はい9(90%) どちらともいえない1(10%) いいえ0 意見・なし
⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか はい10(100%) どちらともいえない0 いいえ0

意見	・「小学校に行っても、訪問してもらって一緒に考えてもらえる環境で安心できる」「客観的に率直にアドバイスを下さるので、信頼して相談することができています」「その日その日の状況を伝えて頂いているので、新しいことを知ったり課題を確認したりできています」「送ってきた時も軽く今日の様子などいってもらえて、いいと思います」
⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
意見	・「本人だけでなく、家族のことも相談にのってくれるのがとても安心できる」
⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	はい7 (70%) どちらともいえない3 (30%) いいえ0
意見	・「保護者の方と直接話ができる機会を作って頂いてありがたいです」「自分自身もっと参加出来たらと思うがなかなか参加できていません」「最近参加できておらず、申し訳ないです。小学校の情報など聞けてよと思う」「支援はされているが、保護者同士の連携はどうだろう？と思う。コロナで活動が制限されていたせいもあるが。」
⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか	はい9 (90%) どちらともいえない1 (10%) いいえ0
意見	・「何かあった」時、すぐに相談できたりして、言える関係にあると思うので、そこがよいと思う」
⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	はい10 (100%) どちらともいえない0 (%) いいえ0
意見	・なし
⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	はい9 (90%) どちらともいえない1 (10%) いいえ0
意見	・なし
⑭個人情報の取扱いに十分注意されているか	はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0
意見	・なし

非常時等の対応

⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	はい9 (90%) どちらともいえない1 (10%) いいえ0
意見	・「連絡ファイルに入っているので、いつも確認できます」
⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	はい9 (90%) どちらともいえない1 (10%) いいえ0
意見	・「放課後に利用している子どもたちも避難訓練に参加できると安心だと思いました」「写真で訓練の様子を知ることができています」

満足度

⑰子どもは通所を楽しみにしているか	はい9 (90%) どちらともいえない1 (10%) いいえ0
意見	・「デイサービスから帰ってきてから、沢山食べてよく寝るので、心ゆくまで遊びをできているのだと思う」「子どもが毎週楽しみにしています」「土曜に行く日の週は、あと何日、明日等、行くのをとても楽しみにしています」「本人は行く必要がないと思っているため、昨年は必要な外出以外は外に出ることなく過ごしました。きょうだい児がそれにつられ、私の外出も制限され、つらい1年でした。時に、子どもを置いて外出すると不安の中でまた(きょうだい)争いになり、(私の)行動が制限されることもまた大きなストレスとなりました」

た。嫌がる子どもを無理に行かせるつもりはないですが、このまま24時間、毎日一緒にいられるだろうか…とも思ったりもします。ひまわり教室に限らず（といっても難しいでしょうが）、本人が納得いくかたちで、関りを持てるよう、今後ともお力添えいただきますようお願いいたします」

⑩事業所の支援に満足しているか

はい10 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

意見 ・「話をよく聞いてくださったり丁寧に対応していただいたりして、感謝しています」「とても満足しています。他の事業所に行くのが嫌なため、ひまわり教室で放課後も行けるとうれしいです」「本人だけでなく兄弟や家族も大切にして下さっていると感じています」

<放課後等デイサービス（Ⅱ部）保護者評価を読んで>

放課後等デイサービスにおいても保護者の評価は高いものになっています。有難く感じています。

今年度はⅠ部を利用する子どもの人数が増え、全体で20人定員なので、Ⅱ部の利用を少し縮小しました。

Ⅱ部の活動はなるべく公共の場を利用したいと考えています。放課後利用の子どもたちは1～3人です。子どもたちと相談し、児童館・図書館・いくつもの公園・ショッピングセンターなど、いろんな場所へ出かけています。行った先の子どもたちと追いかけて遊んだりして遊んでいたりと、行った先の職員さんから直接注意されたりすることは、当たり前なことでもあり、いい経験だとも思っています。

「保護者への説明等」の中の、「⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか」の項目で「はい」が「70%」です。この点については、利用回数の少ない子どもの保護者も含めながらの保護者同士をつなげる活動は、毎年の実践問題として、なかなか難しいものがあります。今年度3回行った講演会への参加を促したり、利用回数の多い子については学校に通っている子の親の会を紹介したりしました。

ここ数年、遠足などのおおきな行事は行うことができませんでした。コロナやインフルエンザなどの状況を見極めながら、親子をつなげる活動も再開できるといいと思っています。

「非常時等の対応」の点については、正月に起こった地震のこともあり、避難訓練の手順を見直したり、実際に避難する回数を増やしたり、災害時の連絡網のことなど、十分に対処していきたいと思っています。

今回いただいた意見は、今後の活動に生かしていきます。

(2) 職員からの放課後等デイサービス事業所自己評価の集計結果

金沢市障害児通園施設ひまわり教室 職員数 5人 回収数 5人 割合100%

<回答の分析結果は表2の通り>・質問は6つの領域に分かれていて、全部で43個の問い。

表2「放課後等デイサービス事業自己評価に関する質問の職員からの回答の集計結果」()内はパーセント

	はい	どちらともいえない	いいえ	合計
環境、体制整備 (①～③)	9 (60.0)	6 (40.0)	0 (0.0)	15 (100)
業務改善 (④～⑧)	23 (92.0)	2 (8.0)	0 (0.0)	25 (100)
適切な支援の提供 (⑨～⑱)	45 (81.8)	8 (14.6)	2 (3.6)	55 (100)
関係機関や保護者との連携(⑳～㉑)	35 (70.0)	10 (20.0)	5 (10.0)	50 (100)
保護者への説明責任等 (⑳～㉑)	32 (80.0)	7 (17.5)	1 (2.5)	40 (100)
非常時等の対応 (㉒～㉓)	27 (90.0)	3 (10.0)	0 (0.0)	30 (100)
合計	171 (79.6)	36 (16.7)	8 (3.7)	215 (100)

環境・体制整備

①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

はい4 (80%) どちらともいえない1 (20%) いいえ0 (%)

工夫している点 ・ひまわり教室以外の場所でも過ごすことが多い。
・小・中学生の子には幼児と部屋を分けて活動するように考えている。

②職員の配置数は適切であるか

はい 2 (40%) どちらともいえない3 (60%) いいえ0

改善点 ・人員配置基準は満たしている。
・日によるが、土曜日に職員が少ない時がある。
・時々足りないな、と思う時もあるが、外に出かけようと努めている。

③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

はい3 (60%) どちらともいえない2 (40%) いいえ0

・建物自体がバリアフリー化されているが、もともと小さい子向けの設備なので、工夫はしているものの、トイレなどのスペースが狭い。フラットではあるが、車いすでトイレに入りづらい。

業務改善

④業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか

はい4 (80%) どちらともいえない1 (20%) いいえ0

工夫している点 ・ミーティングで活動内容等について話し合っている。なるべく公共の場で過ごすことにしたので、外部との交流の機会も増えている。

改善点 ・パート職員が多くなり、「広く職員が参画しているか」ということになると、そこまで出来ていないのが今年度もまだ十分とは言えない現状である。職員全員の勉強会を行ったり、実践検討会への参加も促したりした。II部の子どもたちについては全員での話し合いが十分になされていない面がある。

⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか

はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

工夫している点 ・アンケートに限らず、保護者からの意見は職員皆で確認し、改善できるものはすぐに対応している。
・毎年1回必ず行っている。それを受けて改善している。

⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0

・金沢市のホームページにて公開している。「ひまわり教室だより」でも発信している。

る。
⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか はい4 (80%) どちらともいえない1 (20%) いいえ0 ・外部視点を大切にしている。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 ・教室内で勉強会を開催しているほか、他事業所との交流や実践検討会も行った。 ・外部の研修会参加を増やせたらいいと思う。

適切な支援の提供

⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか はい4 (80%) どちらともいえない1 (20%) いいえ0 工夫している点 ・通ってきた日の子どもの様子の記録と家からの聞き取り（家での様子や主に通っている学校などの様子、希望など）を基に、半年に1回放課後等デイサービス計画を作成している。 改善点 ・一人ひとりの「課題」について説明はしているが、Ⅱ部の親の人と話す時間は短い。
⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか はい2 (40%) どちらともいえない2 (40%) いいえ1 (20%) ・児童発達支援（Ⅰ部）と同じものを使用している。 ・どちらかというと、利用頻度が少ないので、様子に合わせて対応している。
⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか はい4 (80%) どちらともいえない1 (20%) いいえ0 工夫している点 ・毎回利用するメンバーや人数が違うので、一人ひとりについての当面の課題を基本にしつつ、放課後等デイサービス（Ⅱ部）の予定を決めている。 ・平日は担当の職員が中心となって立案している。土曜日や長休みはみんなで確認し合いながら立案している。子どもたちと相談して決めることも多い。
⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 工夫している点 ・平日と土曜日に放課後等支援を行っているが、⑪に書いたように行っている。 ・いろいろな経験ができるようにしている。子どもたちと相談しながらその時々で活動の内容を決めるようにしている。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか はい2 (40%) どちらともいえない3 (60%) いいえ0 工夫している点 ・長期休暇・土曜日は、Ⅰ部の子どもも交じっての集団で活動している。おおまかに一人ひとりの課題を確認しながら状況に応じて支援している。 改善点 ・細やかに分けて決めているかと言えば、できていないかもしれない。決めるようにした方がいいのか検討要。利用回数が少ない子が多いので、難しい面もある。 ・一人ひとりの課題にあわせた細かい設定まではできていないこともある。
⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか はい4 (80%) どちらともいえない1 (20%) いいえ0 工夫している点 ・状況をその都度見て考えている。その子のやりたいことなども大切にしながら集団での活動にも参加できるように気にかけている。
⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

はい5 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちを迎えた後、職員が顔を合わせ、「打合せ」をして、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。職員全員がいるわけではないので必要に応じて、確認したことをいない職員に連絡している。 その日その時の状況に合わせて、柔軟に対応している。 	
⑩支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		
はい4 (80%)	どちらともいえない0	いいえ1 (20%)
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> Ⅱ部の支援終了時は、職員全員は揃っていない。その日のうちに支援の振りかえりはできていない。送りの車の中で確認したいことや話し合うことがあれば、メモを残したり連絡をしたりして気づきや必要な点を共有し、後日振り返り、話し合いで確認を行っている。ケースに書き込んで残している。 必要に応じてしているが、毎回できているわけではない。 	
⑪日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		
はい5 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の記録を取ることを大切にしている。その記録と家からの聞き取りを基に、年に2回支援計画を作成し、支援の課題について職員と確認をしている。 	
⑫定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		
はい5 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 年に2回定期的に行っている。⑩に書いたことに加え、見直しの必要な時には支援計画の見直しをしている。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> 職員と確認をしているが、回数が少ない。 	
⑬ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		
はい5 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 行っている。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> 地域や社会参加の活動に力を入れている。 	

関係機関や保護者との連携

⑭障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		
はい5 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。職員に報告している。 	
⑮学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		
はい4 (80%)	どちらともいえない1 (20%)	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 学校から月間下校時間などをファックスでもらっている。迎えの時間の急な変更等にも対応している。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> 努力はしているが、確認不足だったり行き違いがあったりすることもある。迎えの連絡ミスで遅刻し、迷惑をかけることはゼロにならないので、ていねいなコミュニケーションをしていきたい。 	
⑯医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		
はい5 (100%)	どちらともいえない0	いいえ0
工夫している点	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援と同じく整えている。今年度から看護師が職員に加わった。指導看護師でもあるので、研修も行っている。 色んな書類をそろえて体制を整えないと医ケアの子どもたちを受け入れられないので、医ケアの必要な子については整えている。通室する回数が少ない子には、 	

その都度家族に確認している。緊急の時は連絡できるように、毎日持ち歩く袋に入れてある（緊急対応表、医療ノートなども）。		
⑳就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	はい3 (60%)	どちらともいえない2 (40%)
いいえ0	工夫している点 ・連絡を取る必要がある場合は連絡をしている。担当者会議を行なった場合は提供し合っている。	
㉑学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	はい3 (60%)	どちらともいえない2 (40%)
いいえ0	工夫している点 ・今まではそういうケースがなかったが、必要のある場合は情報提供をし、出向いて話し合いをする。	
㉒児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	はい1 (20%)	どちらともいえない2 (40%)
いいえ2 (40%)	工夫している点 ・連携は取れていない。必要があれば、その時に考えていく。 ・合同の研修会には参加している。機会があれば、参加する。	
㉓放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	はい5 (100%)	どちらともいえない0
いいえ0	工夫している点 ・できるだけ機会を多く作れるよう工夫している。積極的に児童館や域の子どもたちが遊んでいる公園県立図書館など公共の場所で遊ぶように機会を作っている。 ・これからも公共の場で過ごせるように考えていく。その子の地域、そのほかいろんな子たちとの関わりを大切にしていく。	
㉔(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	はい1 (20%)	どちらともいえない1 (20%)
いいえ3 (60%)	改善点 ・積極的に自立支援協議会に参加しているとは言えない。機会があれば参加していく。	
㉕日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい5 (100%)	どちらともいえない0
いいえ0	工夫している点 ・送り迎えの時にはその日の様子を話した。また、連絡帳のやり取りもしている。希望のある場合、個人面談で話を聴いている。お母さんたちとは話をするようにしている。	
改善点	・学習会のお知らせは小学校の高学年以上の人には出していない。「つながりの会」へ誘う。	
㉖保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	はい3 (60%)	どちらともいえない2 (40%)
いいえ0	工夫している点 ・相談の依頼があれば面接相談の時間を設定した。	
改善点	・相談担当の職員以外の職員もなるべく親の人と話をするようにする。	

保護者への説明責任等

㉗運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	はい4 (80%)	どちらともいえない1 (20%)
いいえ0	改善点 ・理解されていないこともあるので、伝え方を考えていかなければと思う。	
㉘保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい5 (100%)	どちらともいえない0
いいえ0		

工夫している点	・㉔と同じ。 ・保護者からの子育ての悩みなどに対する相談があれば話を聴き、必要な助言と支援を行っている。必要に応じて日を決めて相談することもあった。
③②父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか はい2 (40%) どちらともいえない2 (40%) いいえ1 (20%)	
工夫している点	・今年度もコロナウイルス感染防止のため、行事は中止した。家族どうしの交わりの機会がなくなってしまい、残念だった。 ・Ⅱ部のお母さん方は集まるのが難しいと思われる。講演会や学習会の参加を促す時もあった。
改善点	・保護者同士が会うことはあまりない。また、小学校以上の保護者には発信できていない。月に1回行っている、つながりの会（親の会）に誘っていく。
③③子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0	
工夫している点	・運営規定や重要事項説明書に書いてあり、利用開始時に説明をしている。運営規定は見える所に貼り出している。また、法人の方でも、第三者委員の名前を貼り出している。 ・何かあった場合はいつでも話を聴く。希望がある場合に定期的に面接をしている。送迎時や、連絡帳のやり取りなどで連絡し合っている。こうしてほしいなどの要望のある場合には速やかに対応している。
③④定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか はい3 (60%) どちらともいえない2 (40%) いいえ0	
工夫している点	・ひまわり教室全体で、2か月に1回『ひまわり教室だより』を発行している。活動概要・行事予定・報告・その他の情報などを発信している。
改善点	・小学校以上の子向けにはあまり出していない。
③⑤個人情報に十分注意しているか はい4 (80%) どちらともいえない1 (20%) いいえ0	
工夫している点	・情報の管理には注意している。契約時に個人情報確認書を説明し、署名してもらっている。 ・子どもたちの写真や文章を出す時は、その都度保護者に確認を取っている。
③⑥障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0	
工夫している点	・送り迎えの時を利用しコミュニケーションをとる、連絡帳のやり取りをしている、希望のある場合個人面談で話を聴いている。お母さんたちとは話をするようにしている。何かあった場合には速やかに話を聴いたり連絡をしたりしている。
③⑦事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか はい4 (80%) どちらともいえない1 (20%) いいえ0	
工夫している点	・市民に向けて毎年「共生の文化講座」を行っているが、今年度は3回行った。 ・見学の希望、モニタリングの希望はいつでも受け入れた。

非常時等の対応

③⑧緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか はい4 (80%) どちらともいえない1 (20%) いいえ0	
---	--

工夫している点	・緊急時対応マニュアル・緊急対応の表・医療ノート・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、教室を利用する時に持ってくる袋に入れてある。 ・防犯用に、受話器を取ると警察につながる緊急用の110番通報電話を設置した。 ・災害があった場合、教室を開放できるよう、福祉避難所として、金沢市と協定を結んでいる。
改善点	・通信に書いたりしているが、全員に周知はできていないと思われるので、分かるようにしていきたい。
③⑨非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか はい3 (60%) どちらともいえない2 (40%) いいえ0	
改善点	・避難訓練は、土曜日には行ったが、放課後利用の子全員には行えていない。回数が増やせたらと思うが、利用の少ない子が多いので、全員に行くことは難しい。 ・利用する時間帯や時期（長期休暇）によって状況が違うので、なるべく多くの子に避難訓練をするようにする。
④⑩虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0	
工夫している点	・虐待防止研修に参加し、伝達研修も行った。一人一人が気を付けていく。
④⑪どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、しているか はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0	
工夫している点	・やむを得ず身体拘束を行う場合は、放課後等デイサービス計画に記載している。記録に記載してある。
④⑫食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0	
工夫している点	・食物アレルギーのある子どもについてはお母さんからの聞き取りをし、対応している。医師の指示書が必要な子に対しては、指示書にもとづく対応をしていく。
④⑬ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか はい5 (100%) どちらともいえない0 いいえ0	
工夫している点	・ヒヤリハットなことが起こった時は誰でもがノートに書き込んで、誰もが見られるようにしてある。全職員が行っている。

<放課後等デイサービス（Ⅱ部）職員の自己評価を読んで>

放課後等デイサービス(Ⅱ部)の保護者の全体の結果(はい・92.2%)に比べると、職員の結果は(はい・79.6%)と低くなっています。低くなっているのは、放課後等デイサービスの保護者に対して、保護者どうしをつなぐ活動ができていないことがあります。学習会や行事にⅡ部の子たちを誘っていませんが、講演会に参加するように誘ったり、小学校以上の子の親の会へお誘いしています。

また、Ⅱ部の子たちに対して、「…状況に合わせて課題をきめ細やかに設定して支援しているか」という項目では「はい・40%」です。利用する子の中には、メインの事業所があり、教室は年に10回程度の利用の子もいるので、課題の設定はなかなか難しいことであり「きめ細やか」か、と問われると評価は低くなります。他事業所との課題の共有をしていくようにします。

外部団体との連携についても、行えていないので、自己評価はたいへん低くなっています。連携を行なう時間や人員を割けない、ぎりぎりのところでやっていることの表れでもあります。また、今年度もそれほど切迫して課題がなかったことの結果とも言えます。

虐待防止や災害時の対応、ヒヤリハット事例集作成等については、日頃からよく話し合われていることや具体的取り組みが進んでいることなどから高評価となっています。

今回のアンケート結果を受け止め、子どもたちからも保護者のみなさんからも信頼していただけるように活動していきたいと思えます。